



令和6年度 戸田市立新曽北小学校「非認知的（社会情緒的）能力」育成プログラム

目指す学校像

だれにも安心できる居場所があり、だれもが生き生きと主体的に学ぶ学校



チャレンジする取組

様々な活動を通して、興味・関心をもったことに前向きに取り組む中で、目標を設定し、チャレンジする気持ちややり抜く力を育みます。

（自分で見つけた活動や読書活動、チャレンジ縄跳びなど）

やりぬく力



学級活動の取組

本校の学級活動では、学級全体で生活の課題について考え、自分自身の目標をもち、実践し、振り返るようにしています。

自分の目標をもってやり通すことで、成功体験を重ね、やり抜く力を育みます。

気が付く力
仲間と共にやり抜く力
考えたことを表現し合う力

安心できる居場所（学級経営の充実）

「自分ゴト」としての学びの充実感がある授業

居心地の良い、安心できる学級



プロジェクト型学習

身近なところから、そして十分な情報の中から課題を発見し、自分ごととして捉え、自分がわかるまで粘り強く調べ、できることを考え、多様な他者と課題解決に取り組んでいきます。

探究心



汎用的スキルの活用

各教科等で培った汎用的スキルを活用する場を意図的・計画的に設定します。また、子供たちが相手意識、目的意識をもって活動を意欲的に続けられるようにし、探求心を育みます。

考動力

～課題発見力・協働力の育成を目指して～



さくらそう学級との交流活動

インクルーシブ教育の一環として、特別支援学級と通常学級の交流活動を積極的に進めています。

お互いに相手のことを考え、思いやり、多様性の理解につなげていきます。

多様性の理解
他者との協働



にじ色縦割り活動・児童会活動

にじ色まつりなどの縦割り活や児童会活動を通して、異年齢集団で協力して活動する楽しさを味わいます。また、多様な他者と協働する力を育みます。